

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「コミュニケーションの活性」

2024-2025 年度 第7回(通算第1229回) プログラム『基本的教育と識字率向上月間例会』

■日時: 令和6年9月10日(火)19時00分～ ■例会場: アクア・パール
【会長】横山 豊 【副会長】伊藤 広樹 【幹事】後藤 義信

■ 点 鐘

横山 豊会長

■ ロータリーソング『我等の生業』

ソングリーダー

千葉 潔君



■ 会長挨拶

横山 豊会長

皆様こんばんは

今日の例会は基本的教育と識字率向上月間例会です。全世界で読み書きのできない15歳以上の人の数は、7億7500万人と言われておりその3分の2が女性だそうです。この7億7500万人という数は全世界の成人の17%に当たるということです。

僕の祖母もずいぶん前に亡くなりましたが非識字者でした。僕が本を読んでいると「面白いかい？」とよく尋ねられました。今にして思えばたぶん本を読みたかったんだろうなと思います。

日本では識字率が100%と思われてきましたが、戦中・戦後のなか教育を受けられなかった人、病気や不登校などで小学校、中学校で十分な教育を受けられなかった形式卒業者、外国人の増加などでひらがなや漢字の読み書き、計算などに困難を抱える人々の増加が明らかになってきているようです。

本日は国際奉仕・7ベイ友好委員会の担当です。澤田委員長どうぞよろしくお願い致します。

ます。



■ 幹事報告 後藤 義信幹事

本日の幹事報告は3点。

1点目 今月のロータリーレートは1ドル145円です。

2点目 わっとより、わっとだより及び沖縄民謡琉志会より発表会の案内が届いております。

3点目 9月24日の例会終了後にロータリーの備品の廃棄物の選別を行いますので、皆さんご協力お願いいたします。

以上です。



■ 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)

【入会記念日】

横山 豊君 令和2年9月15日(4年目)

【誕生祝】

森 圭一郎君 昭和48年9月11日(51歳)

美馬 嵩俊君 平成7年9月19日(29歳)

【結婚祝】

平野 知子君 平成23年9月10日(13年目)



・本日のニコニコ献金

【澤田委員長、今日ではよろしくお願ひします】

横山豊君

【澤田委員長、頑張ってください】

後藤義信君、大越拓也君、平野知子君、森圭一郎君、美馬嵩俊君、漆崎隆君、千葉潔君、葭本正美君

【今日はお世話になります】

澤田雅仁君

【お祭御礼と委員長頑張って】

鈴木敏夫君

☆本日のニコニコ献金 ￥20,000円

皆さん、ありがとうございました。

・本日のプログラム

「基本的教育と識字率向上月間例会」

国際奉仕・7バイ有効委員会 澤田 雅仁君

今日は、国際奉仕・7バイ委員会担当の「基本的教育と識字率向上月間」例会であります。今回の題目「基本的教育と識字率向上」は、ロータリーが目指している7点重点分野に、平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境保護があり、そのうちの「教育の支援」に、「基本的教育と識字率向上」は入っていて、今日はこの話をしたいと思います。

まず、識字率が低い国の特徴として、義務教育制度化が遅れているとか、国が教育に力を入れていないところにあると思います。

世界には子供たちが基本的な教育を受けられず、成人が十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、その他の諸問題の解決(貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など)の糸口をつかむことができます。

また、基本的教育・識字が重視される理由として、

- ・すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66%減少する。
- ・読み書きのできる母親を持つ子どもは、読み書きのできない母親の子と比べて、5歳以上まで生き延びる確率が50%高い。
- ・国で全生徒が読み書きを習得した場合、1億7100万人が貧困から抜け出すことができ、これは全世界の貧困の12%に相当する。

今、世界的に教育・識字の分野では進展がいられています。2014年国連ミレニアム開発目標の報告書によると、成人と青少年の

識字率が上がっており、男女差も縮まっています。しかし、まだ多くの面で課題が残されています。

[課題]

- ・世界で5800万人の子どもが学校に通っていない。
- ・4年間の初等教育を受けた後も読み書きのできない子どもが2億5000万人いる。
- ・7億8100万人の成人が読み書きできない。

もし、各々のロータリークラブで、識字率向上のプロジェクトを始める前に、「地域社会のニーズを調べる」「地域社会のニーズに応える」の2点から情報収集して決めたらよいと思う。

プロジェクトを始める前に、まず地域社会の「ニーズ(何が必要か)」と「リソース(何を地元で調達できるか)」を確認することが大切です。これを調べるために、地元の人と協力して、徹底した地域調査を行いましょう。調査の段階から地元の人と協力すれば、適切なニーズが見つけれられるだけでなく、地元の指示やサポートを得た上で、持続可能の高いプロジェクトを実施できます。

基本的教育・識字のニーズがある場合、その多くは以下いずれかのカテゴリーに当てはまるはずです。

- ・成人の識字教育が必要
- ・子ども達が学校に通えるよう支援が必要
- ・教育効果を高める支援が必要
- ・教材が必要

こういった点から、プロジェクトを考えて行動すれば、良い結果につながると思います。

また、識字をテーマ別に言い換えます。

[成人の識字教育]

日本人にとって読み書きは呼吸と同じくらい自然な行為に思えても、世界には教育の機会に恵まれない人々が大勢います。こうした人々は、仕事を得るために履歴書を書いたり、子どもの通信簿を読んだり、処方薬の説明書を読んだりすることができません。

[学校に通っていない子ども]

1990年以来、学校に通っていない子どもの数は全世界で1億200万人から5800万人に半減しました。しかし、近年はあまり進展が見られず、2011年に小学校へ入学した1億3700万人のうち、3400万人(約25%)は中台の可能性が高いと言われていいます。子供たちが学校に通えない主な理由は、貧困、性差別、遠距離通学です。

低い識字率を上げるためにどうしているのか話をしたいと思います。やはり、「学ぶ場所がないとか、紛争による影響、貧しい家庭環境、教育資金の不足、女の子は学校に行く必要がない」という認識の存在があるために、識字率が低いのです。それで、今「世界寺子屋運動」や「みんなの学校」などの教育が行われています。「世界寺子屋運動」を簡単に説明しますと、大人も含めて「学びたい」と希望する人たちに、その地域に暮らす人々自身が運営し、場所を固定せず、図書館、地域のお祭り会場、互助やボランティア活動、文化交流拠点として、学べる場をつくり教えています。向上することはわかっています。教材だけでは質の高い教育は実現しませんが、学習効果を高めるには教材使用が必要です。

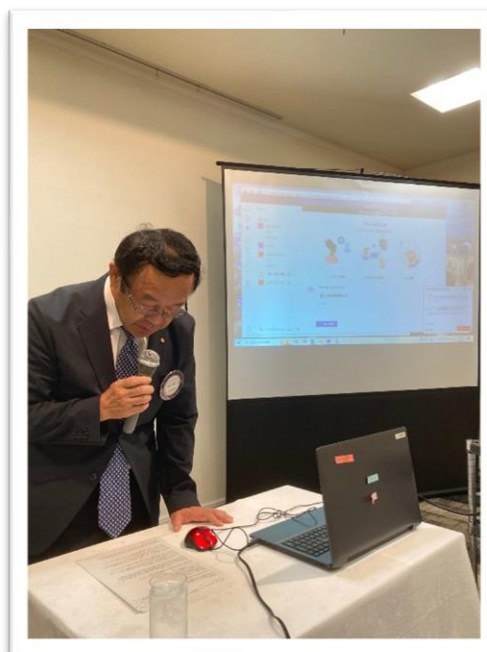
2013年7月12日、国連本部でのマララ・ユサフザイさんのスピーチを紹介します。こ

れは、識字率が低い国の生の声です。

「私は、2012年10月9日、左の側頭部をタリバン兵に撃たれました。友達も撃たれました。彼らは銃弾で私たちを黙らせようと考えたのです。しかし、そうはいきませんでした。その時、沈黙の中から数千の声が上がったのです。テロリストたちは私たちの目的を変えさせ、私の意思をくじこうとしたのですが、私の人生で変わったことは一つだけでした。それは、弱さや恐怖、絶望が死に絶え、その代わりに強さと力、勇気が生まれたということです。私は今までと同じマララです。私の意志も変わっていません。私の希望も、夢もそのままです。私は誰も敵だと思っていません。ましてや、タリバンその他のテロ集団に対する個人的な復讐心もありません。私はあらゆる子どもの教育を受ける権利を訴えているのです。タリバンや全てのテロリスト、過激派の子供たちにも教育を受けてほしいと思っています。私を撃ったタリバン兵さえ憎んでいません。『ペンが剣よりも強し』ということわざは本当でした。過激派が昔も今も恐れているのは、本とペンです。教育の力は彼らにとって脅威なのです。彼らは女性も恐れています。女性の声を持つ力が恐怖なのです。だからこそ彼らは最近、クエッタの攻撃で罪のない学生を14人も殺したのです。だからこそ彼らは、カイバル・パクトゥンクワ州で多くの女性教師とポリオ撲滅の活動家を殺したのです。彼らは日ごとに学校を爆破しているのも同じ理由です。それは、彼らが昔も今も、変化を恐れ、私たちが社旗に持ち込む平等を恐れているからです。あるジャーナリストが私の学校の男の子に『タリバンはなぜ教育に反対しているのか』と尋ねたことがありました。男の子の答えは単刀直入にでし

た。本を指して『タリバン兵はこの本に何が書いているのか知らないからだ』といったのです。私たちは世界の指導者たちに、どのような和平協定も女性と子どもの権利を守るものとせねばならないと訴えます。私たちは、先進国に対し、開発途上地域の女性の教育機会拡大を支援するように呼びかけます。本とペンを手に取り、全世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。それこそ私たちにとって最も強力な武器だからです。教育以外に解決策はありません。教育こそ最優先です」と述べられました。識字率向上が世界平和に貢献するのです。

アフガニスタンのイスラム原理主義組織タリバンが全土を掌握し、今後の人権に懸念が持たれていますが、タリバンが考え方を変えない限り、教育向上はだめだと思います。



釧路バ`10-ｸﾞﾙｰﾌﾟ 出席委員会

在籍会員数	20名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	11名	名 / 名	9名 / 名	55%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長 千葉 潔 : chibainterior@yahoo.co.jp
 副委員長 植原 元晴 : ueharaoto@jeans.ocn.ne.jp
 委員 貝嶋 政治 : kaijima@coral.ocn.ne.jp
 スーパーサブ 美馬 嵩俊 : tm.0919mima@gmail.com
 サブ 池田 圭樹 : rsm07880@nifty.com

ｸﾞﾙｰﾌﾟ 事務所
 釧路市幸町 14 丁目 1-1 ノースハウス 2 階
 TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213

